



<病院理念>

- 私たちは、国民に奉仕する立場から、政策医療である筋ジストロフィー・重症心身障害・神経難病の分野において、患者様本位で質の高い専門医療を提供します。
- 私たちは、充実した医療と健全な経営を心掛け、常に意識改革を怠りません。



『現外来管理棟最後の春です・・・。!!』

撮影者：院長 小長谷 正明

Contents

- | | |
|-----------------------|--------------------------------------|
| 1 卷頭言 | さようなら、桜の外来診療棟 |
| 2 トピックス | Web 中継の病院研修会を終えて |
| 医局短信 | 胃瘻のお話をします |
| 3 看護だより | 新人ナース紹介 |
| 平成才タクコラム | プロ野球編8 |
| 4 新任者挨拶 | |
| 5 転出者等挨拶 | 怒濤の4年間に感謝 |
| 6 地域医療連携室だより | 『鈴鹿の風』表紙写真に想う
春風にのって鈴鹿病院にやってきました！ |
| 7 外来診察担当表／交通案内／編集後記 | |

さようなら、桜の外来管理棟

病院長 小長谷 正明

やや季節は過ぎましたが、万朵の桜という言葉があります。“ばんだのさくら”と読みます（パンダではありません）。満開の花房で、枝が重く垂れ下がっている桜のことです。ちょうど、この『鈴鹿の風』の表紙の写真のような桜です。毎年毎年この景色を、患者さんは複雑な思いで目にして入院され、晴れやかに鮮やかに網膜に焼き付けて、あるいはうるんだ目で眺めて病院を後にしました。職員もそうです。希望を持ってここに奉職し、新たな気分で飛び立っていったり、不完全燃焼のまま去った人もいたかもしれません。この季節、鈴鹿病院に関わる人々には印象深い情景です。でも、この景色は今年で見納めでした。

この病院にはたくさんの桜の木が植わっていました。毎年の花の盛りには、正門から旧看護学校にかけての桜のトンネルで、入院している患者さんたちが、歩ける人は自分の足で、そうでない人は職員に車いすを押してもらいながら、春を満喫していました。うららの風が吹き、まさに“光のどけき春の日”です。また、夜桜は、新入職員の歓迎の宴もありました。

大分以前のこと、ボランティアで皮膚科の診察に来て頂いていた、市の医師会会長の朝日圓先生と渡り廊下を歩いていた時、病棟間の中庭にあった見事な枝垂れ桜を見ながらおっしゃいました。

「懐かしいな、この木も、あの木も。戦争中、私が中学生の時に、勤労動員でこの陸軍病院の木を植えにきましたのだ」。

そのお陰でか、たくさんの木々で自然が一杯の病院になりました。今現在の外来管理棟と第一病棟との間にはうっそうとした林があり、キツツキまでいました。まだ学童だった筋ジスの子どもたちに、カブトムシを捕ってやったこともあります。うるさいほどセミもいます。当直の晩に灯火に来ているのを集めて、家のペットの亀のえさにしたほどです。キジや野ウサギもいました。もっとも、蛇の日向ぼっこや百足の行列はいただけませんが・・・。

しかし、ここ最近、鈴鹿病院の施設整備が進み、第一病棟の改修、中央病棟の新築、外来診療棟の改築と、工事のたびに、木々を切らなければなりませんでした。きれいだった枝垂れ桜をはじめ、すばらしい樹形の太いタイサンボクや、サルの軍団が実を漁りに来たビワの木も今はあります。プリマヴェーラの女神たちの足下の野草のように密かに咲いていた、カタバミや花ニラ、ひなげしなども埋め立てられてしまいました。

ある病院の事務部長さんから、施設整備で、桜の古木に御神酒を挙げてから伐採し、工事を始めたと、聞いたことがあります。そこまでの心遣いをしてこなかったのは心残りですが、せめて、今残っている桜をはじめとする木々を大事にしていきたいと思います。

“年々歳々花相似たり、歳々年々人同じからず”

中国の古詩です。「同じからず」は人だけではなく、時代と共に歩んできた建物もそうです。表紙の写真の外来管理棟はなくなりますが、この桜の木々は、新しい外来診療棟を背景にこれからも春ごとに咲き誇り、装い新たになった鈴鹿病院を見守ってくれ続けると思います。……

行く春や 万朵の桜に 目がうるみ

しばらく前の写真ですが、少しばかり感傷的になりました。

トピックス

WEB中継の病院研修会を終えて 教育担当 櫻井 かなえ

東日本大震災から1年以上の月日が経ちました。当院では、1月27日に「大震災時の宮城病院の状況と日頃の備え－ALSケアセンターにおける自立を育むチームアプローチの経験から－」をテーマに病院研修会を開催しました。この研修会では国立病院機構宮城病院とWebで中継をしました。

まず第1部は、宮城病院の清野仁病院長の挨拶に続き、統括診療部長の安藤肇史先生から「宮城病院における東日本大震災後の診療状況」についての講演があり、大津波襲来時の被害の様子とその後の対応を現実的に知る機会となりました。

第2部は、来院された診療部長の今井尚志先生と共に、宮城病院中央病棟と中継しながら武部昭恵看護師長からALSケアセンターの震災時の状況と災害に向けた日頃の備えについての講演でした。震災後の患者搬送時の状況や災害時対応ハンドブックの説明などがあり、日頃の備えの重要性を感じました。

同時に入院中のALS患者岩松修氏からも震災での経験とその中から感じたコミュニケーションの大切さを意思伝達装置を使い語っていただきました。"自分が動かず、誰がやる！"と力強い自律に向けたメッセージが会場を埋め尽くした皆の心に残りました。

この研修を機に、東南海地震発生間近という現実のなか、私達は震災の備えとして何をすべきかを改めて考えることができました。



医局短信

胃瘻のお話をします

研究検査科長 木村 正剛

皆さん、胃瘻をご存知ですか。喉の動きが悪くて食事をとれない患者さんに、ご自身の消化管を使って栄養を得てもらう方法の一つです。胃と腹壁をつなぐことで直接胃に流動食を送ることが出来ます。例えば脳出血、脳梗塞、筋ジストロフィーや筋萎縮性側索硬化症などの神経系や筋肉の病気の患者さんの中には胃瘻の利用者が沢山いらっしゃいます。胃瘻では、流動食を入れている時にお腹から管が突き出た見慣れないスタイルになります。胃瘻増設を見学したある政治家がエイリアンみたいだと言ったり、TVドラマでは近视眼的な熱血研修医が胃瘻に反対していました。胃瘻は、人気がないみたいで気になります。私見ですが、視力の弱い人の眼鏡や、耳の不自由な方の補聴器、歩けない方の車いすと大きな違いはありません。造設時に手術はしますが短時間に終わることが多いです。気管切開のように死生観も含めた緊急で重大な決定でもありません。胃瘻について誤ったイメージを持たれないようよろしくお願いします。



新人ナース紹介

西1階病棟 石原早苗

チームの一員として責任ある行動をとれるようになりたいと思います。また、患者様、ご家族の方の役に立てるよう日々勉強していきます。

東1階病棟 岡 泰輔

患者様の生活の質を高められる専門的な看護が提供できる看護師を目指したいです。また、患者様一人ひとりと良い人間関係を築いていきたいです。

皆さんの“やる気”がみなぎる研修でした(^v^)
これからもみんなでサポートします!
いっしょに頑張りましょう。

新人研修を終えて一言
看護教育師長
櫻井賀奈恵

西2階病棟 松永 瞳

日々の観察を大切にし、患者様の事を少しづつ理解しながら、一人一人に寄り添う看護ができるれば良いと思います。

東2階病棟 尾地亜由美

目の前の壁を一つずつ乗り越える気持ちで、何事も前向きに取り組みます。安心と温もりを提供できる看護師へ一歩ずつ成長したいです。

西2階病棟 伊藤瑞里

夢であった看護師になれた気持ちを忘れず頑張ります。

東2階病棟 篠原亜惟

はじめまして、鹿児島から来ました篠原です。気配りのできる一人前の看護師になれるように頑張ります。かごんまパワーでさばるぞー!!!。

東2階病棟 多胡朱梨

1日でも早く患者様の顔と名前を覚えて、小さな事にも気が付ける看護師になりたいです。

1病棟 樋口幸子

コミュニケーションや医療技術の向上を目指しながら、患者様の立場になっていくような看護をしていきたいです。

新人ナースです
よろしくお願いします



左上段から 尾地、多胡、樋口、福山、松永、高野
岡、石原、伊藤、篠原、秋山

患者様が「今何をしてほしいの?」ということがわかる看護師になりたいです。

西1階病棟 秋山浩一

東北(福島県)から来た秋山です。伊勢ノ国(三重県)で、「幸せに暮らしてます!」と心から言えるようになります。また、呼吸器のスペシャリストINSになりたいです。

1病棟 福山由華

患者様一人一人の顔と名前を早く覚え、その人に合わせた看護を行いたいと思います。そして、細やかな気配りができ、信頼できる看護師になりたいです。

平成オタクコラム プロ野球編8 神経内科部長 久留 聰

どうしていつも同じ失敗ばかりするのだろう?なぜ、四番バッター(長距離砲)と先発ピッチャーばかり補強するのだろう。実績のある選手が移籍してきても年俸通りの働きをしないのは何故なのだろう? 自前で連れてきた外国人選手がそろいもそろってダメなのはどういう訳なのだろう? 開幕ダッシュに成功したシーズンはあまり記憶に無い。中継ぎ・抑えの役割分担がいつまでたっても決まらない。ベテラン選手が多いから怪我が多い。いい若手がいるのにレギュラーを獲るまではには至らない。これだけ大補強をしたのだから今年こそはぶっちぎりで優勝!と期待させておいてなかなか波に乗り切れない。何か毎年同じ光景が繰り返されているように感じられて仕方が無い。あげくの果てに、自分に都合のいいようにルールを変えようとする。ドラフト制度、フリーエージェント、クライマックスシリーズ、予告先発制。その前にやるべきことはたくさんあるように思う。どうしてアンチ・ジャイアンツである筆者がこれ程まで気を揉まなければならないのだろう? かつては強すぎるジャイアンツに対して他の5球団が必死に立ち向かっていくという対決の構図があって、それがファンを熱狂させてプロ野球が大いに盛り上がった。昔を懐かしがってばかりいても仕方がないけれど、あまりにも今のジャイアンツの姿は倒すべき敵として歯痒い。何かいい方法はないだろうか? 選手ではなく首脳陣を替えるのはどうだろう。落合に監督をやらせて中日のような野球をやるようになったとしたら……? きっと強くなるだろうけど、ジャイアンツらしくなくなって、あまり面白くないような気もする。原監督の“ジャイアンツ愛”で盛り返してもらいたいものである。

新任者挨拶

総看護師長

奥田 艶子

平成 24 年 4 月 1 日付で静岡県の天竜病院から赴任してまいりました。

以前に、平成 21 年 1 月まで当院で勤務させていただ

いていました。

平成 22 年 3 月に中央病棟へ移転、今年度の 11 月には新しく外来管理棟が整備されます。看護課の理念「一人ひとりの生活の質を大事にしながら、ぬくもりと安心していただける看護を提供します」を、職員とともに実践をしていきたいと思います。

どうぞ、よろしくお願ひ致します。

主任理学療法士

近藤 修

皆さまこんにちは、本年 4 月から主任理学療法士として三重病院から赴任してまいりました。

鈴鹿病院のリハビリでは今まで経験したことのない内容も含まれており、質の高さに驚かされることもあります。まだまだ経験不足で不慣れなこともありますが、私も鈴鹿病院の一員として患者様の為によりよいリハビリを提供できるように微力ながら努力いたしますので宜しくお願ひ致します。

第 1 病棟 看護師長

美波 あゆみ

平成 24 年 4 月 1 日付で三重中央医療センターから赴任してまいりました。神経難病病棟に勤務させていただいております。

新しい環境で至らないことが多いと思いますが、病棟スタッフと共に、患者様の生活の質の向上を目指して頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願ひします。

教育指導室長

山内 慎吾

平成 24 年 4 月 1 日付で静岡県の静岡てんかん・神経医療センターより赴任して参りました。よろしくお願ひいたします。

今からちょうど 30 年前、三重大の学生だった私は、当時鈴鹿病院の職員であった先輩からお誘いをいただき鈴鹿病院で卒業研究をさせていただきました。国立病院に勤務するようになります、「いつかは鈴鹿病院に赴任して恩返しを」と思っておりましたので、いざ赴任してみましてとても感慨深いものがあります。

また、立派な病棟が新築され、当時の面影を残すのは「外来管理棟」のみとなり、それも今年度中には新しい建物に移ること、時代の流れを感じます。

新しい福祉制度のもと、新しい療養環境において、これからの方々のご意見を伺いながら考えていきたいと思いますので、どうかよろしくお願ひいたします。

企画班長

沖高 伸夫

平成 24 年 4 月 1 日付で名古屋医療センターから赴任してきました沖高（おきたか）と申します。

生まれは石川県の能登町ですが、数年前に名古屋に拠点を移し、今は自宅のある名古屋から片道約 2 時間かけて通勤しています。最初は苦痛に思えた「通勤」も次第に慣れ、今では景色を眺めたり、仕事の事を考えたり、読書をしたりと自分の時間を満喫しております。

今年度は第二次整備計画の目玉である外来診療棟が完成いたします。患者さんや職員の方々がより使いやすい建物となるよう私も微力ですが、スタッフの一員として携わっていきたいと思います。どうぞよろしくお願ひいたします。

転出者等挨拶

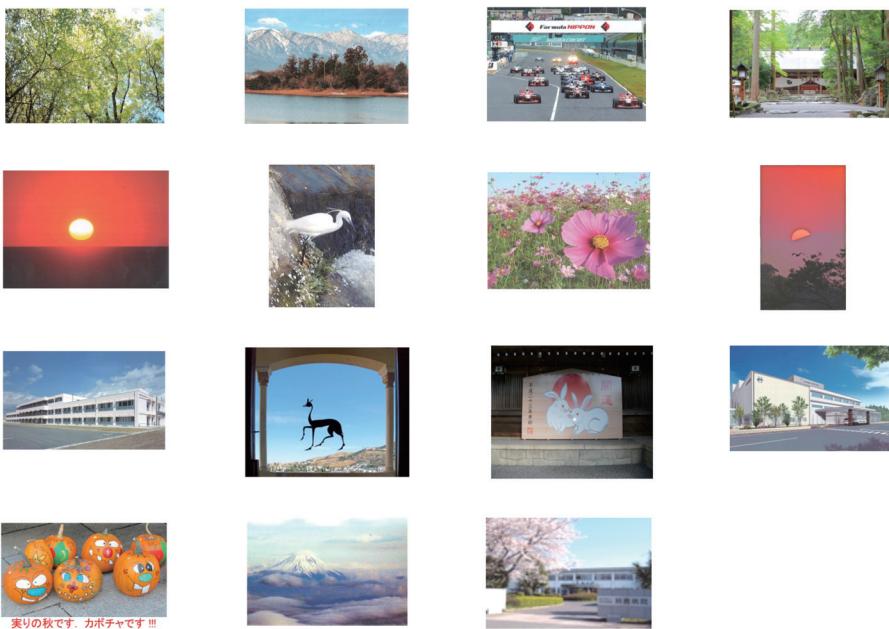
怒濤の4年間に感謝

元総看護師長 折山 久栄

平成20年に赴任し、充実した4年の歳月でした。赴任した当初から看護師確保が最優先、無我夢中で九州地区まで毎年出向き病院のピーアール。次の課題は、240床の病棟の建て替え工事。即他施設を見学し、60床病棟の工事計画。病棟の再編成や移転前の病棟や更衣棟の引越、平成22年3月に完成し引越。事故なくスムーズな移転に奔走し、看護師長はじめ職員と喧々囂々、綿密な引越計画が効を奏した。ほっと一息、患者の療養環境は充実しハード面は完成。次にソフト面の充実に向け、障害者を中心とした医療・看護の素晴らしさや大変さを、職員をはじめ、外に向けて発信しよう。そのために今の実践を可視化（言語化）しなければと職員に叱咤激励の毎日でした。それに答えるべき職員の日々変化に心躍り、患者・家族、職員に感謝した4年間でした。皆様に心から御礼申しあげます。

『鈴鹿の風』表紙写真に想う

元企画班長 中林 正一



本年3月31日付けで定年退職いたしました企画班長の中林です。「鈴鹿の風」の編集を創刊以来担当してきました。創刊号表紙はさわやかな風が通り抜けて行く鈴鹿山系の入道ヶ岳です。「鈴鹿の風」第1号に最も相応しい表紙写真になったと想います。そして、この創刊号の少し以前から当院の第1次整備計画（新病棟建設）構想が始まり、糾余曲折を経て、H22年3月完成。時を於かずして第2次整備計画（新外来管理棟建設）に移り、今年12月完成予定です。

今回号の表紙は、満開の桜を背景にした現外来管理棟最後の春の姿であると同時に、当院にとって国立療養所時代にやっと終わりを告げる時が来たような気がします。

後、半年ほどで職員皆が待ち望んでいた新生「国立病院機構鈴鹿病院」がスタートします。

なお、多くの方々より写真を寄せて頂き、深く感謝申し上げますと共に今後も「鈴鹿の風」にご支援賜りますようよろしくお願いします。

地域医療連携室だより



春風にのって 鈴鹿病院にやってきました！

医療社会事業専門員 中野 宏子

はじめまして。平成 24 年 2 月に鈴鹿病院 地域医療連携室に医療社会事業専門員として入職しました中野と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

地域医療連携室には他に、看護の立場から医療的なアドバイスのできる看護師長 1 名と福祉制度など生活相談のアドバイスのできる医療社会事業専門員 2 名が配置されています。

「医療社会事業専門員」というとちょっと難しい呼び名で何をしている人なんだろう？と思われるかと思います。一般的にはケースワーカーとか MSW（メディカルソーシャルワーカー）と呼ばれている方々と同じような仕事をしています。

鈴鹿病院の地域医療連携室では、通院されている患者さんや、入院されている患者さんが抱かれているいろいろな悩みをお聞きし、行政・医療・福祉など関係機関と調整を図り患者さんそれがその人らしく安心して医療を受けられるよう調整を図る役割を担っています。

また、地域で暮らす方からの相談を受け患者さんやご家族と一緒に問題に取り組み一緒に考え福祉や医療の知識や技術を活用し問題を解決し安心して地域で暮らせるように支援していく役割を持っています。

- ・ 入院するにはどうしたらいいの？病気との付き合い方がわからない……
- ・ 介護保険や障害者福祉サービス受給者証ってどうやって申請するの？
- ・ 各種障害者手帳の申請の仕方や受けられるサービスはどんなものがあるの？
- ・ 病気と向き合いながら自宅で生活するためにどんなことが必要なの？
(住宅改修や車椅子など補装具や日常生活用具など)
- ・ 入院費を払っていけるのだろうか……(障害年金の申請や保険証で受けられるサービス)
- ・ 家族関係・人間関係など生活全般についての悩み
- ・ 退院される場合の地域での福祉サービスの提案と関係機関との連携・調整
(行政・事業所など)

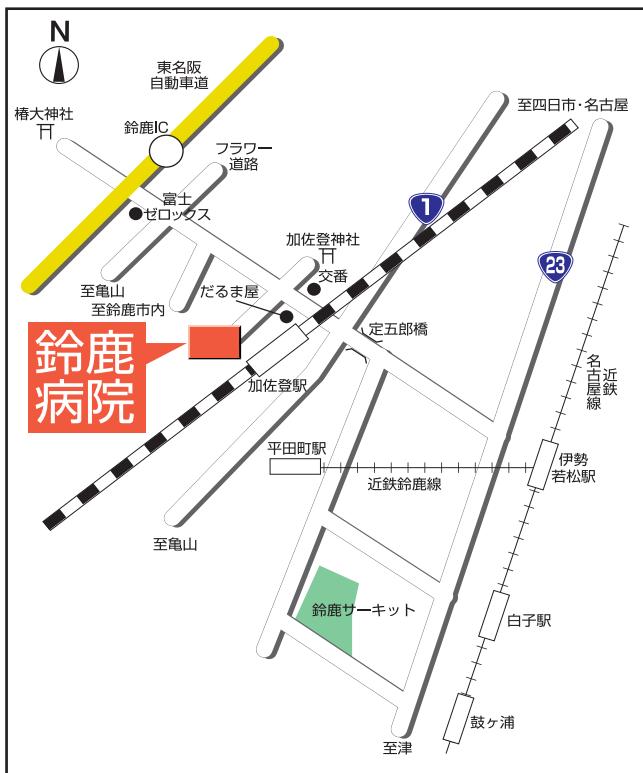
など、相談の内容は多岐にわたっています。

まだまだ、入職したてでわからないことが多いのですが、「おう！がんばれよ！」と患者さんから逆に励まされながら日々努力しております。よろしくお願ひいたします！

外来診察担当表 (2012年5月1日 現在)

	月	火	水	木	金
神 経 内 科	小 長 谷	酒 井	小 長 谷 松 本	小 長 谷	久 留
内 科 (循 環 器 科)	安間(第1・3・5) 棚橋(第2・4)	木 村	安 間 (循 環 器)	安 間 (循 環 器)	棚 橋 (循 環 器)
小 児 科	予 約	予 約	予 約	予 約	予 約
整 形 外 科		田 中(信) 午後(装具)			田 中(信)
リハビリテーション科					田 中(信)
歯 科	山 口	永 田	松 村		
皮 膚 科		柴 田			

- ◆ 外来受付は8:30～11:00、診療開始は9:00～です。
- ◆ 歯科は身体障害者の方に限ります。
- ◆ 装具外来は火曜日の午後1:30から整形外科で受付いたします(あらかじめ電話予約のうえお越し下さい)。
- ◆ 小児科外来は担当医とご相談のうえ、ご予約下さい。
- ◆ 土曜日、日曜日、祝祭日は休診です。



◆ 発 行

平成24年5月

独立行政法人 国立病院機構 鈴鹿病院

〒513-8501

三重県鈴鹿市加佐登3丁目2番1号

Tel. 059-378-1321(代)

Fax. 059-378-7083

<http://www.hosp.go.jp/~suzukaww/>

交通案内

- ◆ JR「加佐登」駅より徒歩8分
- ◆ 東名阪「鈴鹿」I.C.より車8分
- ◆ 近鉄「平田町」駅よりタクシー15分
- ◆ 三交バス(荒神山口行き/椿大神社行き)
「加佐登神社前」下車すぐ
- ◆ 鈴鹿市西部地域コミュニティバス
椿・平田線「26加佐登神社」下車すぐ

編集後記

木々の緑が輝く季節となりました。

4月にはたくさんの新しい職員を迎える、スタッフ全員頑張っています。

新人の声を鈴鹿の風とともににお届けします。

(林みどり)

※写真は本人の許可の下、掲載しております。

